

渡辺大三

週刊
NEWS



【会派 NEWS】 2019(平成 31)年 2 月 21 日号 週刊 Vol.10
お気軽にご連絡ください 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

市民の声が届くシステム導入を 「市民力」唱える西岡市長の本気度は???



た。今のところ、実施に向けた前向きな姿勢が見られないのは残念ですが、西岡市長は市長選で「市民力結集」などの宣伝をしていました。結集以前に、まずは市民の声が市政に届くシステムの導入が必要なのではないでしょうか？。

やる気になれば明日にでもできる工夫です。市長に「やる気」があれば、すぐにできるのですが・・・



この写真は、大阪府藤井寺市の市役所の入口に置かれているパブリックコメント(市民の意見募集)のお知らせです。現地を訪れ、感心しました。案件について、一人でも多くの市民の意見がほしいという行政の「本気度」を感じます。

小金井市ではこういう取り組みをしていません。パブリックコメントは実施していますが、非常に形骸化しています。行政に都合の悪い質問には具体的には回答せず「貴重なご意見ありがとうございました」で済ませる。そんな失礼な対応を続けるから、パブリックコメント制度自体への信頼が揺らいでいます。

私は、市民が声を出しやすいシステムの実現、出された声に正面から向き合う行政体質の実現、をめざして、さらに政策提言を重ねます。

写真は、神奈川県厚木市の市役所入口に掲示されているボードです。

道路の損傷、公園の不具合、落書き、外来生物、不法投棄など、まちの身近な課題について、スマートフォンを使用して通報するよう市民に呼び掛けています。

同様のシステムは、静岡県浜松市などでも採用されており、私は西岡市長に対して導入を求めてきました

平成最後の定例議会始まる

「平成最後」の定例議会が2月20日から始まりました。会期は3月26日までとなります。

市議会の定例議会は年4回で、次回は6月となるため、今回の定例議会が「平成最後」の定例議会となります。

最も重要な議案は、来年度の年間予算案。一般会計は、総額438億2500万円を計上しています。

西岡市長が自らの2019年4月の給与を30%カットするという条例案も注目されます。社会福祉委員の皆さんに条例規定の額より少ない額での報酬支給を意図的に続けてきたことへの責任をとるためのものです。間違えて支給したのではなく、意図的に少なく支給し続けたのですから、「詐欺罪」に当てはまるのではないかと思います。また、西岡市長側は、社会福祉委員の月額報酬が1万1000円だと分かっているのに、社会福祉委員に対して「月額報酬は1万円」だと説明する虚偽公文書まで交付しています。これは「虚偽公文書作成・行使罪」に当てはまると思われます。「30%カットを1か月」程度の減給処分です。非常に疑問です。

平成最後の一般質問を通告

平成最後の定例議会で行う平成最後の一般質問。私は以下の内容で質問通告しました。

実際の質疑は、3月1日(金)午後に行います。

1 市庁舎＋福祉会館、基本設計に向けて～設計業者任せではなく、市としての「考え」を持って臨むべきではないか～

- ① 市庁舎は床面積の縮減の徹底が必要。
- ② 低層階を広げ、建物の高さを抑制。
- ③ 自動車は極力地下駐車場へ。
- ④ 広場の面積は最大限に確保。広場と緑地は極力連続した空間に。
- ⑤ 大災害時を想定した建物利用計画と土地利用計画。
- ⑥ 土日祝や夜間の市民利用を想定した配置と動線。
- ⑦ 免震構造の採用。鉄骨造の大幅な採用。

2 職員等の定員管理について～市役所全体の定員管理という発想はあるのか～

- ① 会計年度任用職員制度の施行は、正規職員のみならず、職員数全体の適正な管理が要請されることにつながると考える。現状、小金井市の職員数は多摩26市との比較でどうなっているか。
- ② 会計年度任用職員制度の施行に向けて、職員数全体の適正な管理に関する計画を持つべきではないか。
- ③ 審議会等の委員の数は多摩26市との比較でどうなっているか。
- ④ 小金井市議会議員の定数が、人口同一市に比して多すぎる件に関して。総合調整権者としての市長の見解は。

3 「まちなおし」に向けての提案(その2)

- ① 武蔵小金井駅東側の東西道路(メガロスに向かう道路)の南側に、歩行者スペースの表示を。
- ② 中央通り(中央線高架側道)と中山谷通りの交差点に信号の設置を。ランブリングウォーク(高架下歩道状空地)貫通までは自動車制限時速を40km/h⇒30km/hに抑制を。
- ③ 東小金井駅南口の駅前T字路に一時停止(止まれ)の表示を。

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県奥州市生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(本社=仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補)。「脱ムダ改革」を掲げ、小金井市政のムダ遣いや不正を厳しくチェック。

現在=小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京都の地域政党「自由を守る会(代表=上田令子都議会議員)」幹事長。市議会では議会運営委員長を務める。

日々の市議会報告、活動報告、雑感、は、Twitter、facebookに掲載しております。「渡辺大三HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>